

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> 自分に合ったアプリを使うことで、ICT端末の利用が促進、習慣化され、多くの情報を得て気づきや学びの質が深まった。 点字入出力情報端末やタブレット端末の音声読み上げソフトを使用して、ノートテイクや調べ学習が出来るようになった。 クラウドサービスを利用することで円滑な課題提示や情報共有が出来、信頼関係の構築や正確な実態把握にも繋がった。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教職員の習熟度によってはICT端末の活用の幅が広がっていない部分も少なからず存在する。 教職員間での活発な議論や新たな挑戦を促すために学部や児童生徒の実態毎に、必要とされる細分化した研修作りをしていくことが必要である。 習熟度が高い教職員に対応が集中することが通常業務の負担になっているという声もある。

校内研修のアイデア

- ・昨年度の研修の中で教職員によってはキャッチアップできなかったもの(クラウド、サピエ、ブレイルセンス等)があり、新任の教職員と併せてリバイバル研修を実施する。
- ・各教職員毎にICTスキルが異なるため、各個人に応じた研修目標を設定することでひとりひとりが成長を実感できるような1年にしたい。
- ・GIGA出前サポートやICT支援員のサポートを受けることで、本研修に関わる業務負担を軽減したい。
- ・全体研修を入門編と応用編に分けることで、教職員にとって参加しやすく意図的で効果的な研修を目指したい。併せて新任者研修との連携も図りたい。
- ・若手教員早期育成プログラムと連携し、ICT端末を活用した授業の指導案の検討、授業実践、整理会を行うことで、ボトムアップでGIGAを盛り上げていきたい。
- ・ブレイルセンス(点字入出力方式の音声・点字携帯情報端末)を用いてアプリをダウンロードする。
- ・サピエ図書館(視覚障害者のためのオンライン図書館)で本を借りる。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・各教職員が年度初めにGIGA個人目標を設定し、研修での学びや他事例の活用、日々の研鑽を積むことで、年度末には目標を達成している。
- ・児童生徒が抱えるICTに関する悩みを他教員と連携しながら積極的に解決する姿勢を持ち、生徒の気づきや喜びに貢献している。
- ・本研修で学んだ知識や技能を用いて、自身の授業の中で意図的かつ効果的にICTを取り入れている。
- ・児童生徒のICT活用について、若手教員育成プログラムとベテランの教職員間で活発な意見交換を行う姿がみられる。
- ・児童生徒がブレイルセンス(点字入出力方式の音声・点字携帯情報端末)を使用して、サピエ図書館で本を借りて読むことや親しむことができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	GIGAスクールライブラリー動画視聴 前年度のキャッチアップ研修①(クラウド、サピエ等) 【個別研修】	GIGAリーダー	
5月	GoogleフォームによるGIGA個人目標の設定 前年度のキャッチアップ研修②(ブレイルセンス、ファイル共有等) 【個別研修】	GIGAリーダー	
6月	GIGA出前サポート研修(入門編・応用編) 【グループ研修】	GIGA推進	
7月	情報モラル・情報セキュリティ研修 【全体研修】	GIGAリーダー	
中間 目標	各教員がGIGAスクール構想について理解し、生徒の実態に応じてICT環境を選択し、児童生徒の学びに活用する。		
8月	前年度のキャッチアップ研修③ (全体研修の動画視聴) 【個別研修】	GIGAリーダー	
9月	「音声読み上げソフト」ICT端末を活用した授業実践① (指導案検討、授業実践、整理会) 【若手教員早期育成プログラム連携・グループ研修】	小学部	
10月	「ブレイルメモで資料共有」ICT端末を活用した授業実践② (指導案検討、授業実践、整理会) 【若手教員早期育成プログラム連携・グループ研修】	中学部	
11月	「ブレイルセンスでクラウド」ICT端末を活用した授業実践③ (指導案検討、授業実践、整理会) 【若手教員早期育成プログラム連携・グループ研修】	高等部 普通科	
12月	「動画撮影による実技改善」ICT端末を活用した授業実践④ (指導案検討、授業実践、整理会) 【若手教員早期育成プログラム連携・グループ研修】	高等部 専攻科 理療科	
中間 目標	各教員が学習活動におけるICTの有効的な活用方法を実践し、教員間での情報共有や指導をおこなうことで業務の効率化、学びの多様化が実現できる。		
1月	校務分掌におけるICT活用の提案 (クラスルーム、クラウド共有、権限付与、内部情報系等) 【グループ研修】	GIGAリーダー	
2月	個人目標に対する実践報告及び評価 (フォーマット自由でICTを用いて行う) 【個別研修】	GIGAリーダー	
3月	GIGAスクール構想推進実践報告会 (今年度の報告を校内サイトに実施) 【全体研修】	GIGAリーダー	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(ろう)学校

GIGA校内研修推進リーダー(中屋 達典・東間 結子)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果より、小中学部では、「B授業にICTを活用して指導する能力」における項目4つで向上が見られた。 昨年度3月にMEXCBT(メクビット)を導入した。使い方の研修をICT委員に行った。 3学期の研修講座で行った各学部での実践事例報告会は、各学部での取り組みや活用例について知ることができよかった、との声が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員各自の実態や学びたいことに合ったグループ編成と研修内容について考える必要がある。 研修にあたり、演習を短いスパンで繰り返し行えるような配慮が必要との声もあり、各学部で少人数小時間で継続できるような研修の持ち方を考えていく必要がある。 児童生徒が学びを深めるための活用についてはまだまだ難しいと感じている教員が多い。Googleワークスペースやロイロノート、Appleのアプリなどの活用の仕方や活用例を学ぶ研修が必要である。 他校の実践例や各教科での活用例を知りたいというアンケート結果も多かったため、SSNや文科省HPの情報も提供しながら、実際に教科担当や学部の教員で視聴する場を設けるなどの工夫も必要である。

校内研修のアイディア

- 月に一度、ICT教育推進委員会のメンバーが主催する「ミニ研修会」(お悩み相談会)を行う。参加は自由とし、各自の技量や関心に合わせて参加ができるように、複数開設する。
- 教科研修会のTeamsを作り、各教科ごとのチャンネルを設け、日々の実践例を掲載してもらうようにする。また、教科ごとのICT活用の情報などをアップする。
- 学部研究会や教科研修会、若プロ等の各研修の機会において、特に授業研究の際にICT教育推進委員が中心となり、授業におけるICT活用の視点をもって協議が深まるよう共通理解しておく。
- 各学部ICT委員には、日常的に授業でのICT活用について話題にできるように配慮してもらい、活用について解決が難しい場合は、委員同士で相談できるようにICT委員会のTeamsを活用する。
- オープン参観期間に授業でのICT活用場面を取り入れてもらうように事前にアナウンスする。感想用紙に「ICT活用の視点」の項目を入れ、ICT活用の効果や自分の授業にどう生かせるかを記入する。
- 長期休業中に「校内ICT活用報告会」を開催し、各学部でのICT活用例について知る。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 小中高教員は、「児童生徒のICT端末の活用に関して、校内研修や教員間の情報交換等を通して、自身の教材研究や授業づくりに活かし、主体的・対話的で深い学びの実現のための授業改善に取り組むことができる。」
- 児童生徒は、「授業で自分のICT端末を使って、わからないことを調べたり、考えをまとめたり、友達と意見交換したりして、課題を解決することに粘り強く取り組むことができる。」

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	・MEXCBT(メクビット)の使い方について[グループ研修]	各部ICT委員	部会・部研等
5月	・各教科でのICT活用についての情報共有[グループ研修] ・授業の中でのICT活用について[グループ研修] ・ミニ研修会[グループ研修]	研修・ICT委 研修・ICT委 ICT委	教科研 部研
6月	・オープン参観でICT活用の引き出しを増やそう[自主研修] ・ミニ研修会[グループ研修]	研修・ICT委 ICT委	オープン参観
7月	・GIGAスクール構想の要点と各教科におけるICT活用について[全体研修] ・ミニ研修会[グループ研修] ・1学期のICTを活用した授業実践を振り返る[アンケート]	ICT委・センター ICT委 リーダー	全校研修会 学校自己評価アンケート
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒がICT機器を授業の中で使う場面が増える。 日常的にICTの話題が出やすい雰囲気を作る。 ミニ研修会の参加者が増える。 		
8月	・教科研での情報共有[グループ研修・オンデマンド動画視聴] ・他学部の活用例を知ろう[全体研修] ・ミニ研修会[グループ研修]	研修・ICT委 ICT委 ICT委	教科研・SSN 全校研修会
9月	・授業の中でのICT活用について[グループ研修] ・ミニ研修会[グループ研修]	研修・ICT委	部研
10月	・授業の中でのICT活用について[グループ研修] ・1人1台端末をどのように使っているの?[グループ研修] ・ミニ研修会[グループ研修]	研修・ICT委 若プロ ICT委	部研 若プロ
11月	・オープン参観でICT活用の引き出しを増やそう[自主研修] ・ミニ研修会[グループ研修]	研修・ICT委 ICT委	オープン参観
12月	・授業の中でのICT活用について[グループ研修] ・情報モラルや著作権関連の指導で大切なポイント[グループ研修] ・ミニ研修会[グループ研修]	研修・ICT委 指導・ICT委 ICT委	部研 スマホ・ケータイ安全教室
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒がICT機器を授業で活用することで、学びが深まったと感じる教員が増える。 ミニ研修会で扱った内容をまとめ、いつでも振り返り、活用できるようにする。 		
1月	・児童生徒が主体的にICTを活用する授業実践において大切なポイント[全体研修] ・今年度のICT活用事例を共有しよう[グループ研修] ・これまでのICTを活用した授業実践を振り返る[アンケート]	ICT委・外部講師 ICT委 リーダー	全校研修会 全校研修会 学校自己評価アンケート
2月	・各教科での効果的なICT活用について[グループ研修] ・ミニ研修会[グループ研修]	研修・ICT委 ICT委	教科研
3月	・今年度の成果と課題を振り返る[アンケート]	リーダー	Googleフォーム

※年間を通して、自分の一人一研究授業の時にICT活用の視点をもって授業研究を行う。指導案検討・授業整理会についても同じ。
 ※各部ICT委員を中心に、日常的にICT活用の実践や使い方等の情報を話題にできるような雰囲気づくりに心がける。
 ICT委員会のteamsを活用し、解決が難しくそうなことは情報共有する。

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

石川県立いしかわ特別支援学校

GIGA校内研修推進リーダー（O松扉、山本、北村、伊藤、吉藤、嵐）

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・教員がタブレット端末を授業等に利用、活用する割合が大幅に増えている。教員と児童生徒がタブレット端末の操作や扱いに慣れてきた。 ・教員同士で教え合ったり、相談したりしながら、担当する児童生徒の実態に合った使い方ができるようになってきている。 ・ほとんどの教員が一人1事例(授業)取り組むことができてきている。教育活動の幅が大きく広がり、児童生徒の深い学びにもつながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践事例(授業)のさらなる共有 ・利用や操作方法だけでなく、「授業づくり」に直接かかわる研修機会の確保 ・障害の重い児童生徒に対する利活用、授業づくり ・教科のねらいにせまるタブレット端末やアプリの活用 ・情報モラル教育、小中高の系統だった指導の充実

校内研修のアイデア
<ul style="list-style-type: none"> ・授業で使えるアプリやタブレット端末の機能をいくつか紹介したり、授業での活用方法を考える研修を取り入れたりする。 ・教員それぞれ、授業にタブレット端末(ICT等)を可能な限り取り入れ、実践例を積み上げ、共有する。(その方法を考える) ・若手教員育成プログラム研修と連携し、各グループの一つの取り組みとして提案し、実践例を挙げ、共有する。 ・タブレット端末研修会(アプリや機能等)を定期的実施する。 ・リモート授業の研修(Zoom、Meetなどの活用)を実施する。 ・ICTが苦手な教員に対し、端末やアプリケーション等の操作・利用方法を随時教える機会を持つ(『ICT相談窓口』の設置やICT支援員との連携) ・研修を受け、随時、授業や活動事例、実践を積み上げる。 <p>【連携】 学校・学部研究、若プロ、教科部会、情報課、ICT支援員、GIGA推進委員</p>

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
<p>『タブレット端末の使い方に慣れ、利用機会をさらに増やすとともに、タブレット端末や各種アプリケーションを用いた授業改善・授業づくりができるようになる。児童生徒の主体的・対話的で深い学びにつながる活用を目指す。』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての教員が、タブレット端末を活用した授業づくり・授業改善ができる。 ・児童生徒が、授業での学びや、学習・生活上の課題改善のために、タブレット端末を活用できる。 ・児童生徒が、より教科のねらいにせまれるように(ねらいを達成できるように)タブレット端末を授業で活用することができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	・ICT講習会[学校全体・リモート] ・GIGAスクールライブラリ動画視聴(ステージ1・2)[未受講者]	情報課 GIGA推進委員	
5月	・GIGAスクールライブラリ動画視聴(ステージ3)[未受講者] ・前年度の取り組みの紹介[Teams活用・学校全体]	GIGA推進委員	
6月	・GIGA出前サポート「iPadの使い方(仮)」[高等部希望者]	GIGA推進委員	
7月	・ICT講習会[学校] ・【モデル授業①】高等部 OO部門公開授業	情報課 GIGA推進委員	
中間 目標	授業を受け持つ教員が、タブレット端末を利用した授業の事例を1つ(以上)取り組む(授業づくり)。		
8月	・ICT講習会[学校] ・GIGAスクール構想、iPad研修会[高等部・県事業]	情報課 GIGA推進委員	GIGAスクール構想モデル事業による研修
9月	・【モデル授業②】高等部 OO部門公開授業	GIGA推進委員	
10月	・動画編集アプリ研修 ・Googleアプリ研修(GoogleDrive、Classroom、Meet)	情報課やGIGA 推進委員	文化祭 表現会
11月	・動画編集アプリ研修 ・Googleアプリ研修(ドキュメント、スプレッドシート、スライドなど)	情報課やGIGA 推進委員	文化祭 表現会
12月	・ICT講習会[学校]	情報課	
中間 目標	授業を受け持つ教員が、『児童生徒』が、タブレット端末を利用した授業の事例を1つ(以上)挙げる。→実践事例を積み上げる。		
1月	先進校視察→共有と還元	GIGA推進委員 等	
2月	各学部の実践事例のまとめ[各学部]	GIGA推進委員	学校研究報告会 学部研究報告会
3月	実践事例の報告・次年度に向けて[学校全体]	GIGA推進委員	

目標の達成に影響を与える現状

＋ (強み)

－ (弱み)

最重度の障害を有する児童生徒の学習に対応するため、様々な手作り教材を制作してきた蓄積がある。特に支援機器の活用について個々の児童生徒の困難に応じた工夫を行なっている。
学校内だけでなく、早期教育相談、合同学習、進路指導・進路先への追指導などを通して、センター的機能を果たしてきている。

重度重複障害のある児童生徒がほとんどであり、僅かな動作や視線での表出が可能になるICT機器を活用するスキルが求められている。しかし先進的な活用は一部の教師に偏っている。小規模校であるため、教師は多様な業務を抱えており、どのようなICT機器の活用ができるかじっくりと協議、検討する余裕がない。

校内研修のアイデア

授業実践ですぐに使える内容を研修に取り入れたい。

繁忙期と余裕のある時期とを考慮し、若手研など目的が合致する分野の研修と兼ねた研修にしたり、動画の作成、閲覧、ポスター発表など個人で行う研修も取り入れたい。

一方的な伝達でなく、ベテランから若年層へ、若年層からベテランへ相互の情報提供を実現したい。デジタルネイティブ世代が、SNSやスマホ等の知識をベテランに伝えることも大切だと考える。

教師総合研修センターの研修サポートやICT支援員等を活用して、さまざまな校種に対応できる知見を学び専門性を高め、センター的機能をさらに充実させたい。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

【教師・学校の姿】

全ての教師が、児童生徒の意欲や意思表示を引き出すためにICT機器や技術を活用できる。特別支援教育、ICT技術の基礎、基本を理解した上で、日々の学習活動の支援に役立てようとする。特別支援とICT関連の知識を地域支援に活用できるようにする。
(幼保、地域の学校の特別支援学級へのセンター的機能の発揮)
ICTの活用のできるようになったことを進路先の施設や家庭へ伝達する。(進路支援)

【児童生徒の姿】

ICTの活用により、これまで経験できなかったこと、挑戦してみたかったことに積極的に取り組み、新しい世界に自ら興味と希望を持って進もうとする。

月	研修テーマ [研修形態]	担当	関連する行事等
4月	ICT活用入門「2年目のGIGAスクール構想」 [全体]	池田	
5月	Google Classroomをさらに使いこなそう [全体・個人]	梶、池田	運動会
6月	1人1台携帯端末の活用(プレゼンアプリ、動画編集アプリ、動画ライブラリの視聴等) [個人]	梶	
7月	いろいろなアプリやソフトの活用方法を知ろう [全体]	吉藤、中田、梶	
中間目標	ICT活用について、今日的な課題と現状をすべての教師が身につける。 1人1台端末の活用に向けて、すべての教師が活用方法を身につける。		
8月	GIGAについて外部講師を招いた講習会 [全体] *特報連の講演会	梶	
9月	情報モラル・情報セキュリティを学ぼう [全体] *若手研	梶	瀬領祭
10月	他学部を参観し、ICT機器の活用を学ぼう [個人] *若手研	梶	
11月	ICT機器を活用した教材づくり「音楽、動画教材の作成」 [個人]	池田	瀬領祭
12月	GIGA・ICT活用について、一人一研究ポスター作成 [個人]	梶	
中間目標	すべての教師がICT機器を活用した教材制作を、協力・相談しながらすることができる。 すべての教師が安全な利用、コンプライアンス等について最低限必要な知識を身につける。		
1月	ICT機器の活用 [全体] (プロジェクター、視線入力装置) *若手研	吉藤、中田、梶	
2月	さまざまな支援機器の活用 [全体] (Blue 2、なんでもワイヤレス、自作スイッチ等)	池田、濱崎	
3月	まとめ「一人一研究のポスター発表」 [全体]	梶	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(錦城特別支援)学校

GIGA校内研修推進リーダー(三木 山田)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・校内のコミュニケーションツールにMicrosoft Teamsを導入することにより、教員間の連絡がスムーズになり校務の効率化が進んだ。 ・TeamICTでICT活用について年間を通して研究してきたことにより、メンバー内でのICTに対する意識の高まりが見られた。 ・教員のICTに対する意識が高まり、約88%の教員が授業でタブレット端末を活用するようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Teamsの活用は進んだが、ファイル共有など校務の効率化に有効な機能は十分に活用されていない。 ・TeamICTメンバーはネットワークを活用した授業研究、実践を行ってきたが、メンバー以外の教員にその成果が十分に浸透していない。 ・ICT活用に対する意識の高まりは感じられるが、約12%の教員がほとんど授業でタブレット端末を活用できていない。

校内研修のアイデア
<ul style="list-style-type: none"> ・校務効率化のための研修会を行い、Webアプリやクラウドなどの活用を促し、教員のICT活用のスキルを養う。(5月) ・特別支援学校情報教育連絡協議会で行われる講演会の参加、またはその動画を視聴する研修会を行う。(5月、8月、1月) ・授業で活用できるアプリの紹介や実技など、実践的なICT活用に関する研修会を行う。(8月) ・TeamICTを中心にICT活用方法の研究や実践を行い、動画などで公開する。(7月、9月、10月、11月) ・TeamICTの研究・実践成果を校内及び近隣の小中学校に発表する機会を持つ。(12月) ・全ての教員のICT活用実践を集約し「実践事例集」としてまとめ、校内で公開する。(2月)

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
<ul style="list-style-type: none"> ・全ての教員が一人一台端末を活用して学ぶ授業を行うことができる。 ・全ての教員がWebアプリやクラウドを活用することができる。 ・全ての児童生徒が、その能力や適性に応じた方法で一人一台端末を活用し学習することができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	・研修計画の作成	推進リーダー	
5月	年間研修計画についての説明[全員] 第1回ICT活用研究会[全員] 第1回特別支援学校情報教育連絡協議会[全員]	推進リーダー TeamICT 情報支援課	第1回特報連
6月	ICT活用方法についての研究[TeamICT]	TeamICT	
7月	ICT活用方法についての研究[TeamICT] ICT活用についての動画研修①[全員]	TeamICT TeamICT	
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての教員がWebアプリやクラウドの仕組みを知る ・全ての教員が一人一台端末の操作を習得する ・TeamICTメンバーが端末の操作を習得し、ICTを活用した授業実践を始める 		
8月	第2回ICT活用研究会[全員] 第2回特別支援学校情報教育連絡協議会[全員] ICT活用方法についての研究[TeamICT]	TeamICT 情報支援課 TeamICT	第2回特報連
9月	ICT活用方法についての研究[TeamICT] ICT活用についての動画研修②[全員]	TeamICT TeamICT	
10月	ICT活用方法についての研究[TeamICT] ICT活用についての動画研修③[全員]	TeamICT TeamICT	
11月	ICT活用方法についての研究[TeamICT] ICT活用についての動画研修④[全員]	TeamICT TeamICT	
12月	ICT活用方法についての研究[TeamICT]	TeamICT	
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの教員がWebアプリやクラウドを活用することができる ・多くの教員が一人一台端末を活用して授業を行うことができる ・TeamICTメンバーがネットワークを活用した授業を行うことができる 		
1月	ICT活用方法についての研究[TeamICT] 第3回ICT活用研究会[全員] 第3回特別支援学校情報教育連絡協議会(録画)[全員]	TeamICT TeamICT 情報支援課	第3回特報連
2月	ICT活用方法についての研究[TeamICT] ICT活用実践事例集の発行[TeamICT]	TeamICT TeamICT	
3月	次年度に向けて	推進リーダー	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(小松特別支援)学校

GIGA校内研修推進リーダー(中谷)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

研修課や情報課と連携したことで、全教員が共通に理解しておく必要がある内容を中心にさまざまな研修を数多く実施することができた。研修に前向きな教員が多く、時間の長短はあったが定期的に研修を行うことで、教員のICTを活用していく意識を持続させることができた。また、部研究会でタブレット端末実践報告を行うことで、研修で学んだことを日々の実践に生かすことにつながった。

課題

全ての教員が授業等でICTを活用しているが、教員のICT活用に対する苦手意識やICT活用技能の個人差はある。よりICT活用ができるように、その個人差に応じた研修を今後は実施していく必要がある。

校内研修のアイデア

学校研究、学部研究として、日々の授業でタブレット端末を取り入れ、タブレット端末活用実践記録を用いて情報共有を行う。

タブレット端末活用授業実践記録と連携させた学習指導内容表を作成し、付けたい力に応じた活用方法を容易に確認できるようにする。

ニーズを把握し、長期休業期間中に習熟度に合わせてICT機器活用の校内研修を行う。

ICT活用が得意な教師や経験が豊富な教師など組み合わせた少人数グループでの情報交換や悩み相談の場を企画する。

少人数グループで話したことや実践を気軽に発表をしたり、課題に対して質問をしたりできる場、ICT教材の共有の場所としてTeamsを活用する。

GIGA出前サポートを活用する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

タブレット端末やICT機器を、授業の目標を達成するためのツールとして使うことができる。

- ・適切な場面での活用
- ・障害や学習の困難を補う支援としての活用
- ・学習内容の理解を促進するための支援としての活用

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月			
5月	Googleクラスルームの作成、活用事例の紹介【資料】	情報課	
6月	情報モラルについて【伝達研修】	推進リーダー	GIGA校内研修推進リーダー研修
7月	ICTを活用した授業実践研究[各部研究会]	情報課 研修課	
中間 目標	教員がタブレット端末を活用した授業を計画し実践する。		
8月	タブレット端末操作研修【希望者、選択研修】	情報課 研修課	
9月	少人数グループでの情報共有、お悩み相談会	情報課 研修課	
10月	少人数グループでの情報共有、お悩み相談会	情報課 研修課	
11月	少人数グループでの情報共有、お悩み相談会	情報課 研修課	
12月	タブレット端末操作研修【希望者、選択研修】	情報課 研修課	
中間 目標	児童生徒が自ら学びに向かう姿を目指し、タブレット端末活用のポイントを意識した授業を計画し、実践する。		
1月	少人数グループでの情報共有、お悩み相談会	情報課 研修課	
2月	ICTを活用した授業実践研究[各部研究会]	研修課	学部研究報告会
3月	ICTを活用した授業実践研究[全体研究会]	研修課	学校研究報告会

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

石川県立 明和特別支援学校

GIGA校内研修推進リーダー（小岩良行、金子真之介、杉本幸久）

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・iPadや各アプリの基本的な使い方を習得したり、各実践を知ることによってICT活用にあたっての引き出しを増やしたりすることができた。校内研修で知り得た知識やスキル等が、研修後の授業計画・実践に役立った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(学部によって差はあるが)ICT活用実践等の情報共有について、十分には行われていない。 ・児童生徒が活用する実践が十分ではない ・インターネット回線を有効活用した実践が十分ではない

校内研修のアイデア
<ul style="list-style-type: none"> ・本校の実践事例の紹介 ・他校での実践事例の紹介 ・マスター教員のICTの示範授業ビデオ視聴 ・先行している普通校でのICT活用事例から、特支でどんな活用が出来るかを考える ・新任者や明和に来た方向けのオリエンテーション ・重度知的障害の児童生徒の実践と検証 ・オンライン授業等、インターネット回線の活用した授業について ・児童生徒が自端末を使い、学びを深める授業について ・Googleフォームの作成、配布及び回収方法を学び、授業後の児童生徒が授業後の自己評価または学習チェック(小テスト)などに活用する環境づくりの研修 ・色々な情報(フォームを使ったアンケートや小テスト)をQRコードにして、家庭での学習の振り返りを行うための環境づくりの研修(非常時以外持ち帰りが可能となった場合)

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が授業課題をICTを活用して解決する姿 ・本人の学びがデータとして蓄積され、それらのデータを活用して児童生徒が新たな学びや深い学びへと向かっていく姿 ・操作方法の説明等はほとんど受けずに、学びの中で端末を使いこなす姿

◆全員対象 ○一部職員のみ対象 ●選択者のみ対象(9月~2月で3つ受講必須)			
月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	◆今年度のGIGAの取り組みについて[集合型]・・・全教職員 (・新たな授業づくり研修受講対象者への声かけ)	全員	GIGA推進委員会 職員会議
5月	◆授業でのICT活用のポイントについて	小岩 金子	GIGA出前サポート活用予定
6月	○本校で使用する端末の使い方や本校が所有するICT機器・周辺機器の紹介について[集合型]・・・(新任者・希望者)	杉本 小岩	
7月	(授業におけるICT活用実践を積極的に行う) ※実践シートの提出(締切:8/12)		GIGA推進委員会
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・研修で知り得たことを、授業での活用に生かす ・実践したことを蓄積する(一人一実践報告) 		
8月	○基礎スキル研修[集合型]・・・希望者 (詳細は後日連絡) ◆情報モラル及びTeamsを使った業務改善について [集合型]・・・全教職員	全員	GIGA出前サポート活用予定
9月	●本校の有効な活用実践の紹介と関連アプリの使い方① [集合型]・・・(希望者)	小岩 金子	
10月	●本校の有効な活用実践の紹介と関連アプリの使い方② [集合型]・・・(希望者)	杉本 小岩	
11月	●本校の有効な活用実践の紹介と関連アプリの使い方③ [集合型]・・・(希望者)	金子 杉本	
12月	●他校の有効な活用実践の紹介と関連アプリの使い方 [集合型]・・・(希望者)	小岩 金子	GIGA推進委員会
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な実践を知り、ICT活用の引き出しを増やす。 ・授業目標を達成するために、ICT機器をメインツールまたは補助ツールとして活用することができる。 		
1月	●本校の有効な活用実践の紹介と関連アプリの使い方④ [集合型]・・・(希望者)	杉本 小岩	
2月	●本校の有効な活用実践の紹介と関連アプリの使い方⑤ [集合型]・・・(希望者)	金子 杉本	GIGA推進委員会
3月	◆今年度のまとめ[集合型]・・・全教職員	全員	職員会議

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(七尾特別支援学校)学校

GIGA校内研修推進リーダー(永井、引木、徳山)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> Teams等で連絡することにより、職員朝礼の時間が短縮されたり、情報の共有化がスピーディーに行われるようになった。 ICT機器に対する苦手意識が減り、授業で積極的に使う教員が増えた。 ICT機器を活用することが児童生徒の分かりやすさにつながった。 意欲的に授業に取り組む、児童生徒が増えた。 2月に行ったアンケートでは児童・生徒が主体的にタブレット端末を活用する授業を行った教員の割合が85%となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 肢体不自由を合わせ持つ児童生徒がiPadを利用するにあたってのインターフェイス。 モニター等ICT機器の数による制約。 予定が埋まっていることが多く、GIGA研修日を設定しづらかった。 タブレット端末を活用した授業は、国語などの特定の授業であることが多く、今後は幅広い授業で活用できるようにしていく必要がある。

校内研修のアイデア
<ul style="list-style-type: none"> Apple Teacherの活用 GIGAスクールライブラリの視聴 部ごとの少人数での演習、実践報告による情報交換 全体研修(教職員にiPadを配付しカメラやインターネット検索, Windowsツールの使用方法の説明) 全体研修(ICT機器の使用にあたって必要な著作権, 情報セキュリティー, 情報モラルの研修) 各学部による知識定着確認研修(全体研修での知識をいかしたiPadの活用方法の確認や法律関係の確認) 各学部による研修(学校におけるICTを活用した学習場面)※授業実践を1人1回以上行う 各学部による研修(ICTを活用した授業実践の報告会) 全体研修(office365のOneDriveやTeamsなどの使用方法の説明) 各学部による研修(PCからiPadへのデータの移動方法など) 全体研修(業務改善事例報告会)

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
<ul style="list-style-type: none"> 全ての教職員(養護教諭・管理職含む)が、効率的な業務の遂行を行うことや授業における支援の可視化に、office365のOneDrive、TeamsなどのアプリケーションやiPadのアプリケーションを活用し、授業実践力の向上、業務の効率化を図ることができるようになる。 70%以上の児童生徒が授業でタブレット端末を使用できるようになる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	iPad研修 [各部・講義、演習]	永井、徳山 引木	
5月	ICTの活用 [各部・動画視聴、演習]	永井、徳山 引木	
6月	ICTの活用 [各部・動画視聴、演習]	永井、徳山 引木	
7月	内部情報系・著作権 [各部・講義]	永井、徳山 引木	
中間 目標	タブレット端末などのICT機器を活用した授業を行うことができる教員の割合が増える。		
8月	ICTの活用 [各部・動画視聴、演習]	永井、徳山 引木	
9月	授業実践 [各部]	永井、徳山 引木	
10月	ICTの活用 [各部・動画視聴、演習、実践報告会]	永井、徳山 引木	
11月	OJT[動画視聴・実践報告会]	永井、徳山 引木	
12月	ICTの活用 [各部・動画視聴、演習、実践報告会]	永井、徳山 引木	
中間 目標	児童・生徒がタブレット端末やICT機器を活用する授業を行った教員の割合が増える。		
1月	ICTの活用 [各部・動画視聴、演習、実践報告会]	永井、徳山 引木	
2月	ICTの活用 [各部・動画視聴、演習、実践報告会]	永井、徳山 引木	
3月	ICTの活用 [全体・実践報告会]	永井、徳山 引木	

目標の達成に影響を与える現状

＋（強み）

ICTを活用しようとする職員が増えた。ICT好きの児童生徒がいる。iPhoneユーザーがいる。児童生徒、職員の人数が少ない。小規模校なので台数がある。視覚優位の子どもには効果的。Keynoteを活用できる児童がいる。

－（弱み）

教師の知識、能力不足。自由に使用した職員が少ない。端末を使いこなせていない。得意な職員に業務が偏る。

校内研修のアイデア

- ・アプリの使い方など、使用方法基本講座の実施。
 - ・AppleTVの使い方。
 - ・便利なアプリの紹介。
 - ・リハビリの様子を共有する。
 - ・MEETやTeamsの活用の仕方。
 - ・基本的なiPadの使い方講座。
- 【授業】
- ・情報マナーを学ぼう。
 - ・「〇〇まで行ってみよう」旅費、行程等を検索する学習。
 - ・他校とweb交流するには。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 【職員、業務改善】
- ・休校になっても学びを止めない発信力。
 - ・お仕事さくさくデータ管理。
 - ・紙媒体の縮小。
 - ・業務の効率化。
 - ・データやフォルダなどの情報の共有ができる。
 - ・パソコンではなくタブレットを持って授業へ。（Teamsの活用）
- 【児童生徒】
- ・自分の困難さを解決するツールの発見。
 - ・自分の気持ちを伝える手段。
 - ・自宅でもタブレットを使用して、学ぶ力を持っている。
 - ・iPadに自分で入力して、見たいものや調べたいものを検索する。
 - ・情報、意思の発信「伝える力」

月	研修テーマ [研修形態]	担当	関連する行事等
4月	基本的なiPadの使い方講座。カメラ機能やミラーリングの仕方。	宮川 柿田	若手研
5月	Teamsの使い方	宮川 柿田	
6月	Teamsで会議をしてみよう	宮川 柿田	
7月	classroomの使い方	宮川 柿田	
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が一人一台を持って授業で使ってみる ・データをクラウドに保存し、みんなで使用できるようにする。 		
8月	MEETを使って会議をしてみよう	宮川 柿田	
9月	授業での動画使用方法やリンクの貼り方	宮川 柿田	
10月	動画の編集の仕方	宮川 柿田	文化祭
11月	chromeのアプリを使ってみよう(forms、スプレッドシートなど) [一斉]	宮川 柿田	授業参観 マラソン大会
12月	授業実践報告会 [一斉]	宮川 柿田	
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が家庭へ持ち帰って教材づくりに利用する。 ・児童生徒が端末を持ち帰って使用する 		
1月	おすすめアプリの発表会 (一斉)	宮川 柿田	
2月	情報交換会 [一斉]	宮川 柿田	送る会
3月	来年度に向けて(まとめ) [一斉]	宮川 柿田	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(七尾特別支援学校珠洲分校)

GIGA校内研修推進リーダー(黒川健太朗)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<p>小学部・中学部:児童の活用よりも授業を進める上での補助具として使用した。発語のない児童のコミュニケーションツール、国語・算数でのアプリ学習に活用することができた。</p> <p>高等部:外部交流、発表場面などにおいて、zoom, googleスライド, jamboardを活用し、「伝えたい内容・気持ち」を表現するための情報収集・編集・発表の仕方を学習できた。</p> <p>教師:「試しに試してみる」ではなく、「この場面で有効に使えるのではないか」という意識の変化が見られた。</p>	<p>・授業のねらいを適切に設定し、ICT活用場面の設定とその理由を明確化することが求められる。</p> <p>・教師のICT機器活用能力に差がある。</p>

校内研修のアイデア
<p>○プチ研修(毎月1,2回を10~15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アプリ紹介(若手研でアプリの情報を得る) ・ICT機器操作の基本(Googleアプリ, officeアプリ, 動画作成アプリ, パソコンショートカットキーなど) ・ICT支援員Q&A共有 ・リーダー研修報告会(良いと思ったところを精査して伝える) <p>方法:作業の様子をリアルタイムでスクリーンに表示する</p>
<p>○実践発表会(年に2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した授業実践の共有 <p>方法:メインはGIGAの3人が話したりスライドを作ったりして、概要を語り、その途中で本人から失敗談、成功談など思いを語ってもらう。</p>
<p>○外部講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アプリ紹介

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
<p>【教師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修やICT支援員からの助言を受け、ICTを業務の軽減に活用することができる。 ・教科等のねらいを達成するための明確な理由をもってICT機器活用ができる。
<p>【小学部児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与えられたタブレット端末に慣れる。
<p>【中学部生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やり方を学び、それを自分のために使うことができる。
<p>【高等部生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末で作ったものを他者に発信することを楽しめる。(例えば、自分の作った動画や加工した写真などを楽しみを共有するためのツールにできる。)

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	・GIGA研修に関するアンケート調査①(予備調査)	福井	
5月	・プチ研修(GIGAリーダー研修報告会および今年度のGIGAスクール研修の説明)	黒川	
	・校内研修「情報モラル」	福井	
	・GIGA研修に関するアンケート調査②(事前調査)	黒川	
6月	・プチ研修(ICT機器操作の基本)	黒川	
7月	・若手研(活用できるアプリの収集)	黒川	若手研
	・プチ研修(ICT機器操作の基本)		
中間目標	9月初めのアンケート調査③で「普段からICTを業務の軽減に活用できている」(4段階評価の最上位)の項目に回答者の2割が該当する。		
8月	・外部講師によるアプリ紹介	福井	
	・実践発表会	坂下	
	・プチ研修(若手によるアプリ紹介)	黒川	
9月	・プチ研修(ICT機器操作の基本)	黒川	
	・GIGA研修に関するアンケート調査③(中間調査)	福井	
10月	・プチ研修(GIGAリーダー研修報告会)	黒川	
11月	・プチ研修(ICT機器操作の基本)	黒川	
12月	・実践発表会	坂下	
	・GIGA研修に関するアンケート調査④(事後調査)	福井	
中間目標	12月のアンケート調査④で「普段からICTを業務の軽減に活用できている」(4段階評価の最上位)の項目に過半数が回答者の5割に該当する。		
1月	・プチ研修(ICT機器操作の基本)	黒川	
2月	・GIGA研修に関するアンケート調査⑤(来年度のGIGA研修)	福井	
	・今年度のGIGA研修の成果発表	黒川	
3月	来年度に向けた教材フォルダ, 個人フォルダの整頓		黒川